

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	北上市産地直売所魅力アップ事業費補助金			
■評価事業コード	050100 - 154	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	03 地産地消の推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	産直を魅力ある施設にすることで、お母さんを元気にし、農業と地域の活性化をはかるもの。北上市産地直売所連絡協議会に対し補助金を交付し、産地直売所を核とした農業経営を促進するため、産直を魅力ある施設にする取り組みを支援する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上市産地直売所魅力アップ事業費補助金	北上市産地直売所連絡協議会		<ul style="list-style-type: none"> ○スタンプラリー クーポン券引換者…500円券52名、300円券10名 賞品当選者…32名 ○講演会および昼食会 参加者数73名、料理数30品 ○西和賀町との交流会 ○首都圏PR事業 3産直出典 ○イベントへの出店 6回 ○農楽工楽クラブ出前産直 ○会議開催5回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	650	919	465		
人件費	2,223	3,354	3,163	1,967	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,873	4,273	3,628	1,967	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	イベント開催数	1回	1回		1回	スタンプラリーを実施。21年度は1カ月の実施期間だったが、22年度は3カ月間実施。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	研修会の開催数	2回	2回		2回	講演会および昼食会と、食品表示に関する研修会を行った。
03	補助対象産直の売り上げ総額	4%増	1%増		対前年7%減	総会資料から(または聞き取り)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

農楽工業クラブの出前産直やイベント出店等で販路拡大に努めているが、売上は横ばいまたは減少傾向にある。

問題点・課題等

放射能問題に起因する山菜等出荷停止による販売額減少や産直生産者の高齢化が課題となっている。生産者のやる気が出る、客を呼べる魅力ある商品企画等を支援していく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

農業者の販路拡大及び6次産業化のための販路として、産地直売所は重要になっている。また、農村地域で買物弱者となっている市民の生活用品購入場所ともなっている。